

# 読む まゆみ

「昨今、心が疲れている人が非常に増えているような気がする。」  
 IT化により、激変する世の中。これまで信じて、守られていた「文化」「常識」「雇用」「家族」の形態が、ここ数年で一挙に流れを変えた。それにより、これまで描いていた将来像が見えなくなっただけでなく、今、自分がいるところすら、いつ晴れるとも知れぬ濃い霧の中である。そして現在、うつ、引きこもり、登校拒否、暴

## ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

力が、私たちの生活に頻りに登場し、一九九九年の自殺者がなんと、約三万三千人。一日九十人と、交通事故死を上回る時代になつてしまった。多くの人が、心の渇きを訴え、自分自身を見失い、先行きに不安を感じている。

あった。  
 講演の内容は、「なぜ、自分らしく生きられないのか」や、「人生脚本から見えた視点」ということで、十

二歳までの両親との人間関係の中の「幼児決断」が重要な人格形成を担うが、もし、その人らしく生きる

禁止令」が、中途半端な社会人をつくりだしていつているというお話を、実例を基にわかりやすくお話し

り、相手には相手の立場や考え方があつたということ

# 自分らしく生きるとは

「こいつは、人間の心」に関心をもち、ライフワークのひとつにしていく。

先日、富山県で開催された「日本交流分析協会 北陸支部 特別講演」で、現代病と言われる「人の心の疲れ」に対して、私が引

る白井幸子先生のおそばに

事件が頻発することになり

交流分析(TA) アメリ

こいつは

は、「人間の心」に関心をもち、ライフワークのひとつにしていく。

先日、富山県で開催された「日本交流分析協会 北陸支部 特別講演」で、現代病と言われ

る白井幸子先生のおそばに

事件が頻発することになり

交流分析(TA) アメリ

と心地よくなる瞬間が

という「ドライバー(抵抗)

他の人も受け入れ愛するこ

環境の多様化で、相手を知

学ぶ場を提供しているNPO